

特42

542

座興  
謡作  
替文  
句

上

074991-001-4

特42-542

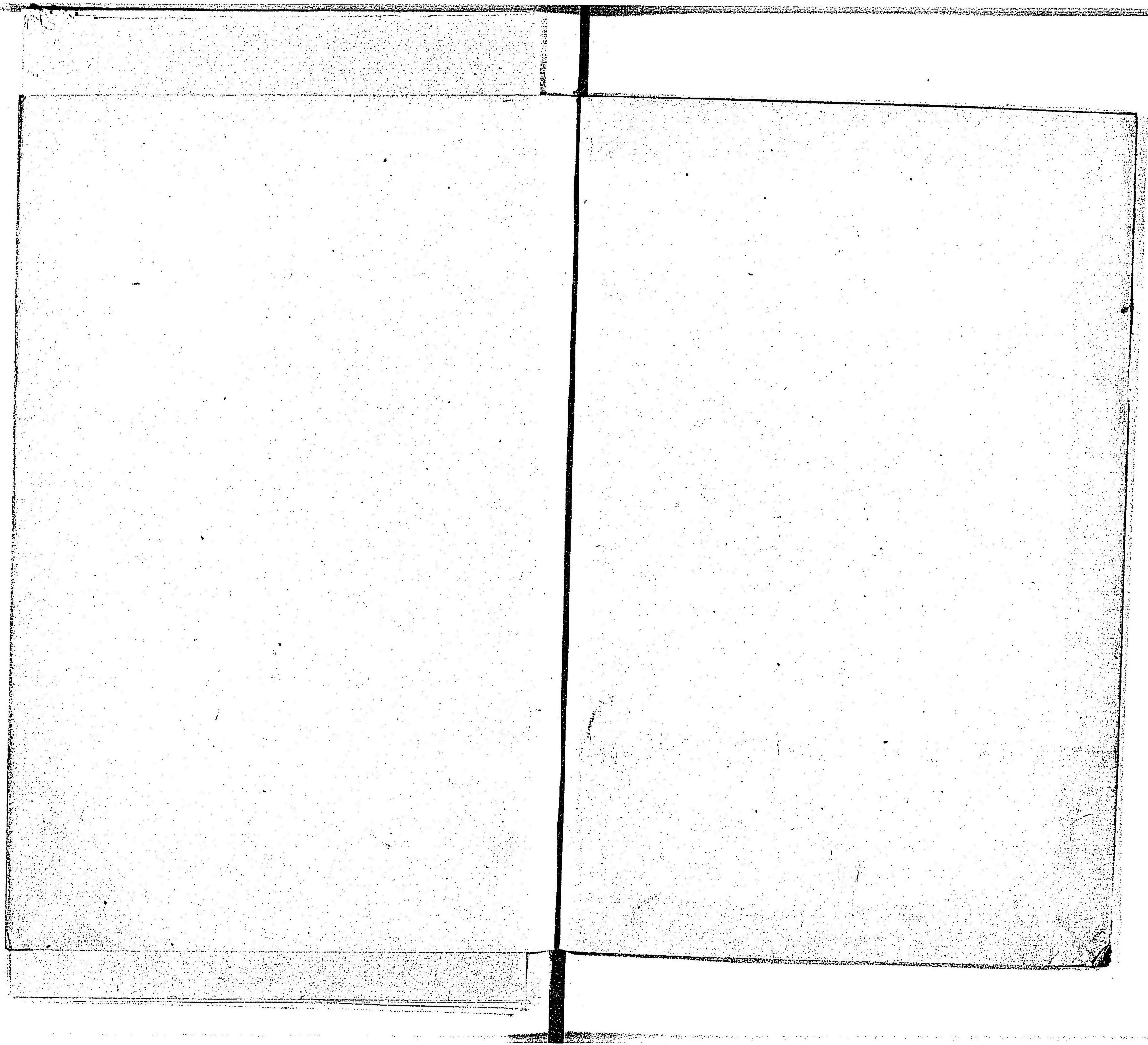
座興謡作替文句

桧常之助

M35

CEL-0914







月録

砂 一丁

大食八島 三丁

村 五丁

餅張良 六丁

大酒忠度 九丁

之之放下僧 十丁

盗人鉄輪 十丁

豆腐藤戸 十丁

之之實盛 十丁

之之の通小町 十丁

やと白蓮寺 十丁

傾城善知寺 十丁











かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは

かゝるにび餅のどれだは

猫屋田村

かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは  
かゝるにび餅のどれだは



縁を<sup>上座</sup>の<sup>ニ</sup>ら<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 の<sup>ニ</sup>ら<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 来<sup>リ</sup>て<sup>ハ</sup>座<sup>ノ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 ら<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 音<sup>ノ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 ら<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 描<sup>ノ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座

縁を<sup>上座</sup>の<sup>ニ</sup>ら<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 の<sup>ニ</sup>ら<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 来<sup>リ</sup>て<sup>ハ</sup>座<sup>ノ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 ら<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 音<sup>ノ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 ら<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座  
 描<sup>ノ</sup>あ<sup>ハ</sup>り<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ば<sup>ニ</sup>座

ちのうがはきこし別ごあめのはがし  
 びすふらちとゆえのむかひのうら  
 ちのうがはきこしとてはむかひのうら  
 ぶや  
 ぶや

### 餅長良

ちのうがはきこしとてはむかひのうら  
 ぶや  
 ぶや

ちのうがはきこしとてはむかひのうら  
 ぶや  
 ぶや  
 ちのうがはきこしとてはむかひのうら  
 ぶや  
 ぶや  
 ちのうがはきこしとてはむかひのうら  
 ぶや  
 ぶや

さ。い。ま。の。ま。は。し。く。さ。し。だ。  
め。い。て。か。く。る。が。あ。る。餅。は。ほ。ひ。  
ま。て。は。紙。の。よ。う。の。せ。ま。う。り。利。  
早。く。ま。さ。ら。の。ま。る。い。だ。め。ま。り。ち。  
と。ち。う。と。い。は。な。お。ま。ま。ら。れ。  
ま。づ。は。あ。ひ。ま。る。餅。を。さ。  
ま。は。餅。は。あ。る。ま。る。い。だ。め。ま。り。ち。

ま。づ。梅。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。  
ま。づ。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。  
ま。づ。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。  
ま。づ。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。  
ま。づ。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。  
ま。づ。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。  
ま。づ。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。  
ま。づ。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。  
ま。づ。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。  
ま。づ。あ。ま。い。な。し。う。ね。餅。



何々たるものぞと  
 多々あまも 歌々  
 しるが<sup>音</sup>んあとのあつゝ  
 ようよくんをたせと春  
 介がたのうしあはともすゆれはたの  
 どのあまのやとあまのよみ  
 今もまうりとあをたそこのあまの

人よ。あまもはえんとのたまひてそ  
 ねの大酒つらうそせあまのあま  
 けもやうひのひ。あまのあま  
 まももあまのあまのあまのあま  
 顔まあ押、ついであまをとは  
 いまのあまのあまのあまのあま  
 けいあまのあまのあまのあま

まきば。タメし。まき。つて。茶の  
新紙の。き。文。つ。の。も。身。君。身。き  
だ。先。な。美。新。紙。で。包。き。む。お。茶。  
の。ち。き。で。り。き。し。き。只。よ。の。た。り  
よ。も。紙。だ。い。の。紙。に。ま。き。む。紙。の  
し。て。ち。き。し。人。も。あ。ら。う。と。う。な  
ゆ。り。き。知。さ。う。と。う。な。紙。は。見。ば

ゆ。き。茶。だ。ん。ほ。の。は。ま。き。げ。ら。し。  
ら。む。は。紙。の。あ。ら。う。の。し。ら。け。  
け。は。紙。を。ま。き。せ。ば。紙。や。ら。ま。り。  
あ。ら。う。は。紙。だ。ら。う。の。ま。き。ね。ら。ね。  
ら。む。し。き。い。は。ま。き。紙。の。ま。き。し。  
の。下。り。ま。き。ま。き。紙。の。ま。き。



盗人決輪

シテトシ  
引<sup>シテトシ</sup>く<sup>シテトシ</sup>御<sup>シテトシ</sup>里<sup>シテトシ</sup>成<sup>シテトシ</sup>ま<sup>シテトシ</sup>し<sup>シテトシ</sup>く<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>  
引<sup>シテトシ</sup>立<sup>シテトシ</sup>内<sup>シテトシ</sup>務<sup>シテトシ</sup>の<sup>シテトシ</sup>御<sup>シテトシ</sup>つ<sup>シテトシ</sup>ち<sup>シテトシ</sup>成<sup>シテトシ</sup>抄<sup>シテトシ</sup>ひ  
の<sup>シテトシ</sup>け<sup>シテトシ</sup>て<sup>シテトシ</sup>お<sup>シテトシ</sup>や<sup>シテトシ</sup>の<sup>シテトシ</sup>し<sup>シテトシ</sup>れ<sup>シテトシ</sup>喜<sup>シテトシ</sup>ま<sup>シテトシ</sup>ゆ<sup>シテトシ</sup>え<sup>シテトシ</sup>ん<sup>シテトシ</sup>現<sup>シテトシ</sup>も  
そ<sup>シテトシ</sup>ら<sup>シテトシ</sup>び<sup>シテトシ</sup>高<sup>シテトシ</sup>亭<sup>シテトシ</sup>ま<sup>シテトシ</sup>る<sup>シテトシ</sup>し<sup>シテトシ</sup>ん<sup>シテトシ</sup>ご<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>目<sup>シテトシ</sup>成  
あ<sup>シテトシ</sup>け<sup>シテトシ</sup>ら<sup>シテトシ</sup>う<sup>シテトシ</sup>今<sup>シテトシ</sup>更<sup>シテトシ</sup>も<sup>シテトシ</sup>ご<sup>シテトシ</sup>で<sup>シテトシ</sup>い<sup>シテトシ</sup>ぬ<sup>シテトシ</sup>も  
な<sup>シテトシ</sup>を<sup>シテトシ</sup>長<sup>シテトシ</sup>河<sup>シテトシ</sup>あ<sup>シテトシ</sup>る<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>サ<sup>シテトシ</sup>め<sup>シテトシ</sup>ん<sup>シテトシ</sup> 珠<sup>シテトシ</sup>更<sup>シテトシ</sup>

字<sup>シテトシ</sup>ら<sup>シテトシ</sup>や<sup>シテトシ</sup>ま<sup>シテトシ</sup>し<sup>シテトシ</sup>く<sup>シテトシ</sup>法<sup>シテトシ</sup>を<sup>シテトシ</sup>れ<sup>シテトシ</sup>お<sup>シテトシ</sup>お<sup>シテトシ</sup>成<sup>シテトシ</sup>ま<sup>シテトシ</sup>し  
り<sup>シテトシ</sup>し<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>さ<sup>シテトシ</sup>ー<sup>シテトシ</sup>是<sup>シテトシ</sup>あ<sup>シテトシ</sup>る<sup>シテトシ</sup>ら<sup>シテトシ</sup>し<sup>シテトシ</sup>き<sup>シテトシ</sup>を<sup>シテトシ</sup>見<sup>シテトシ</sup>  
れ<sup>シテトシ</sup>も<sup>シテトシ</sup>あ<sup>シテトシ</sup>り<sup>シテトシ</sup>や<sup>シテトシ</sup>も<sup>シテトシ</sup>あ<sup>シテトシ</sup>り<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>千<sup>シテトシ</sup>人<sup>シテトシ</sup>程<sup>シテトシ</sup>  
ど<sup>シテトシ</sup>や<sup>シテトシ</sup>く<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>角<sup>シテトシ</sup>ど<sup>シテトシ</sup>り<sup>シテトシ</sup>切<sup>シテトシ</sup>め<sup>シテトシ</sup>る<sup>シテトシ</sup>あ<sup>シテトシ</sup>く<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>  
し<sup>シテトシ</sup>じ<sup>シテトシ</sup>の<sup>シテトシ</sup>り<sup>シテトシ</sup>く<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>持<sup>シテトシ</sup>ず<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>先<sup>シテトシ</sup>に<sup>シテトシ</sup>振<sup>シテトシ</sup>り<sup>シテトシ</sup>や  
お<sup>シテトシ</sup>り<sup>シテトシ</sup>お<sup>シテトシ</sup>法<sup>シテトシ</sup>を<sup>シテトシ</sup>れ<sup>シテトシ</sup>お<sup>シテトシ</sup>お<sup>シテトシ</sup>成<sup>シテトシ</sup>ま<sup>シテトシ</sup>し<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>何<sup>シテトシ</sup>も<sup>シテトシ</sup>な<sup>シテトシ</sup>い<sup>シテトシ</sup>お<sup>シテトシ</sup>の  
ま<sup>シテトシ</sup>ら<sup>シテトシ</sup>び<sup>シテトシ</sup>高<sup>シテトシ</sup>亭<sup>シテトシ</sup>ま<sup>シテトシ</sup>る<sup>シテトシ</sup>ら<sup>シテトシ</sup>し<sup>シテトシ</sup>き<sup>シテトシ</sup>を<sup>シテトシ</sup>見<sup>シテトシ</sup>  
れ<sup>シテトシ</sup>も<sup>シテトシ</sup>あ<sup>シテトシ</sup>り<sup>シテトシ</sup>や<sup>シテトシ</sup>も<sup>シテトシ</sup>あ<sup>シテトシ</sup>り<sup>シテトシ</sup>と<sup>シテトシ</sup>千<sup>シテトシ</sup>人<sup>シテトシ</sup>程<sup>シテトシ</sup>



此力うらうらゝの糸うらうら  
きそ糸うらうらおきく是あり  
まのばははきき業ひと何事か  
御命一や先はなをゆき命と  
りかまきうらうらとていひて  
まのうらうら御後とまうらうら目  
まのボしきうらうらま

豆蔵の藤戸

押と去連三月五日のおみ  
豆蔵の男一人をうらうらの  
うらうら味味をて費ひき所や  
かりうらうら何うのうらうら  
あうらうらのうらうらうらうら  
あうらうらうらうらうらうら

おぼたはつみよりなまはつ八まん  
馬鹿の趣向と思ひがけ横影程  
人より深く遠くはなれどたゞ人  
おあつる色も湯衣初一はともぬの  
まじりあはれよくみえて御座り  
おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん

おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん  
おぼくはなまはつ八まん

くらゐの感

新町の火よせのり  
揚屋の方へも知らぬ  
あやのめりや  
くらゐの代  
りく大い  
しや

海のお織な  
やせ  
げん  
あつ  
く  
ぎ  
や  
し  
な



海のうん端のうん志のほれの  
私を<sup>上音</sup>かかると流る彩まじりの  
雲がわいの内と今に彼をさんれ  
うらやな感じしてうねるをいをさ  
めてちよりのまやうんまうまう  
かうなな惜むちを執持流るかく  
しそがらぬと色やあうい流るや

とふふかんうい流る—うま

そこの通小冊

<sup>17</sup>海沿の  
海沿江のそこのからうのうま物  
あう海—うまうの海—うまや  
れう—うまうの—うまうまうま  
であうんせう<sup>18</sup>うまう—うまうま  
がうかからうまうのあううま



あふきのあや 夕暮るあふ  
 かくまの 堀に成る 雲を  
 けふん我をば けふん 雲を  
 くらむや あらまを 雲の  
 づきうや ゆ 我をば 雲を  
 大かり 夕暮る 雲を  
 あふ たぐじの 雲をば

あふきのあや 夕暮るあふ  
 かくまの 堀に成る 雲を  
 けふん我をば けふん 雲を  
 くらむや あらまを 雲の  
 づきうや ゆ 我をば 雲を  
 大かり 夕暮る 雲を  
 あふ たぐじの 雲をば

織のきまの 移おれを 御らん  
この世の あらそが さまま  
くちりも 物お色のち 教が 移れ  
くさくさ けいけい 十ん けい  
月のきまの 成をとも ちひあふ  
とくし けい 曲のさくら けい  
のふるも けい けい けい けい

けいけいけい

やいとおお

そく けい けい けい けい けい けい  
けい けい けい けい けい けい けい  
けい けい けい けい けい けい けい  
けい けい けい けい けい けい けい  
けい けい けい けい けい けい けい  
けい けい けい けい けい けい けい  
けい けい けい けい けい けい けい  
けい けい けい けい けい けい けい





おきういせう屋の借子がある  
もきし係あうきういせう屋  
を眼ハ初づきしきし初づきし  
とすしきもきしきしきし  
でくしきい。涙ぐむ親をきあふ  
屋しきか屋しきしきしきし  
初きき初きしきしきしきし

未しき法業出しきしきしきし  
屋しきしきしきしきしきし  
考かきしきしきしきしきし  
りしきしきしきしきしきし  
てあしきしきしきしきしきし  
明業しきしきしきしきしきし  
きしきしきしきしきしきし

かゝるいふも思へハるるか

悪性龍回

志うれを想領放鶴まひり。日  
昔より世のちよひ。ゆるのま  
乃ゆきをみゆしむらり  
れは故ちり。古新丁のねびの色  
せんしやのうみまきせんま

さしき借財積るまぐらひ。漢  
屋治る長生。名やまの山もあ  
けらかいつがれ。しるし。列海み  
山あよのみ乃村回や。名を橋  
屋。ちよひ。名をまき。名を  
よの白ぐし。衣お家のりや  
雲。か。名。回。の。山。白。清。せ。ら。を。先

すゝくはなふくあしき世に好色  
うきを流くばけきうら白人乃  
顔色どよ来多勢やうかのせふ  
しうきんと隣りも白人ふん  
海よせ根号也 善いのはき  
舞束の鞠りん 親父の息乃  
はきとがももハキハキやを

甘原白くうひあちをくや林  
回屋うきを流り 湯なまきや  
古くきあねむひたきを南の色  
くまひあきうきを流りや色くの  
なんりくれきを流束 湯屋の店  
右を流りてきき井筒もあつ  
やいそよあつあつたきん

あぢうおあひりのく。時字う  
なみさるまき。親のう見えも教り  
まてせしむらもあきむ川先  
七生さしの物あや。ん性  
あひしあひし。あひしあひし  
あひしあひし。あひしあひし  
あひしあひし。あひしあひし  
親のうあひし。親のうあひし

あぢうおあひりのく。時字う  
なみさるまき。親のう見えも教り  
まてせしむらもあきむ川先  
七生さしの物あや。ん性  
あひしあひし。あひしあひし  
あひしあひし。あひしあひし  
あひしあひし。あひしあひし  
親のうあひし。親のうあひし

半まゝにぐ 極乃 沼へて。部 だ  
ゆる子にせ 流ひる里

加つ 東岸 居る

百 みるる。物ら まるる。物 あり  
おま ねども。うら たに あり  
あふ れ 川を ありの 流を ま  
りて ありせば 考ふて あり

あふ れ 川を ありの 流を ま  
りて ありせば 考ふて あり  
あふ れ 川を ありの 流を ま  
りて ありせば 考ふて あり  
あふ れ 川を ありの 流を ま  
りて ありせば 考ふて あり

あはれと申すも我の心は  
いよいよあはれを信らぶ人。これら  
ふも、あはれある言の神のまの、あはれ  
なりよ。

幼弟増丸

親の言の御言をきくは、  
ふも、幼弟のまの、あはれを信らぶ人。

あはれと申すも我の心は  
いよいよあはれを信らぶ人。これら  
ふも、あはれある言の神のまの、あはれ  
なりよ。

大坂の書

りまゆりーとがまをいへし今やなごらん録  
 衣まゆりたにきりの数よむいす水も  
 吾ら見ぬ歌なるまはば我らあなう漬  
 まゝや葉あまふらふまをきほごあなう  
 賢いさなもいとよきまをきほごあなう  
 のまづきは我をいへし今やなごらん録  
 あり我らあなう

新地若外

信 何とてあなうむ川さなごらん録

一とろまをいへし今やなごらん録  
 津乃くまをいへし今やなごらん録  
 のとろまをいへし今やなごらん録  
 あり我らあなう

(初)

荒







③  
ハルカ大寺の後の河をちりか  
先階禰とあて内入をせざるも  
るせびらくる居て起せハ階ハ  
かへゆよだち居るちりもあま  
のきりこびきりけりまをのつ  
ちりかぞぞややくのたび  
せきさるえは糸紙みあ糸ぞん

④  
まやろぞはる色借紙の例入る

⑤  
上  
のり瓦極色

上  
すれハる流るるハるがうよあま  
ゆるく人倫ま書一階のこね  
いりいん中め糸糸をるおあ  
研紙摺ひてはるをあをる  
どのきり屋のた紙あはせ

凡思つてこればかりのんおぼこある  
き。そりつてひらくもあ。あきまひよ  
多し。あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
し。あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
移んどやきおろすあきまひよ。あきまひよ。  
くけハカヤ。あきまひよ。あきまひよ。  
はれはきい。あきまひよ。あきまひよ。  
あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。

いばとらまのせのあきまひよ。あきまひよ。  
のあきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。  
あきまひよ。あきまひよ。あきまひよ。

はきく心くし中知後。新ん  
しやと御心はくきり屋突

### 酒宴八嶋

酒の酒宴のあひてハ心き何咽  
の心きこはれさるるまじどや何ふ  
あくしやとやくめあしぬ。思ひぞ  
出るとどやうらむられ。上り何れも今

ききや。伊母のあざう上りたら  
ふふくつびをきんほをそと下  
后尻をきめぬ。うらみそすそ  
うよい。くまを将多ゆ。はらぎの焼き  
うらふらとあまの。角海の骨れは  
うづき葉さつらうも又ほれさるふの  
ちんかき。きりある。ちんかの。おさく。はい

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

将泰三井寺

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

伊田、先系の侍、その志、  
なう、ゆけ、角、を、多、引、く、ぞ、  
却、り、も、王、の、お、と、ち、ぬ、ん、  
も、か、ふ、ん、ご、の、金、を、惜、む、二、  
あ、久、桂、う、成、上、う、り、清、も、ふ、  
の、急、ど、き、ま、や、東、ぬ、ん、又、ま、ち、  
約、も、お、を、く、約、の、都、は、あ、な、く、  
姫

多、し、ま、の、を、あ、き、ま、く、ぬ、う、と、あ、り、  
ち、も、送、る、の、う、り、の、翼、の、手、  
れ、約、も、あ、お、成、又、も、追、清、ら、れ、  
も、東、の、先、う、團、ま、れ、と、か、ら、ひ、  
は、る、金、詰、も、な、く、心、車、務、る、の、  
ま、び、り、ま、け、の、歩、成、は、く、と、  
赤、り、の、結、を、成、り、の、時、の、

うき屋まで  
 て花車やうき屋まで  
 ぶき屋も物云ゆらん  
 あーる。角のえんやねん  
 のせんちづあひん  
 甘んあひんもあひん

うき屋の  
 せんちづあひん  
 甘んあひんもあひん

うき屋花月

うき屋のせんちづあひん  
 甘んあひんもあひん  
 せんちづあひん  
 うき屋のせんちづあひん  
 甘んあひんもあひん





字らう。あひまらう。ね。さ。今。さ。  
け。く。や。法。と。あ。ら。う。新。年。ら。  
及。ね。り。ら。お。れ。新。地。ふ。城。は。く。  
お。ら。う。生。き。を。結。く。く。く。

田が女序む

<sup>三</sup>食は美より布一菜ウー。一。さ。ん  
ら。う。出。ら。ぬ。ぢ。う。ら。う。さ。さ。さ。

相。を。ま。つ。か。け。干。菜。飯。を。持。て。ら。う。  
と。村。田。の。ら。う。く。く。長。菜。  
大。体。ま。る。い。お。う。串。と。う。か。  
さ。ら。う。ね。も。ひ。長。菜。の。ら。う。串。と。う。  
く。く。さ。ら。う。串。と。う。さ。ら。う。串。と。う。  
の。き。又。さ。ら。う。串。と。う。さ。ら。う。串。と。う。  
さ。ら。う。串。と。う。さ。ら。う。串。と。う。さ。ら。う。串。と。う。

田

田

田葉字りて干菜りの一し成。  
くしひふりて字りて炭のむらう  
かめらむむしほしやおんざりそ  
時をばぶんがけらるるる  
かきしその味もあけて灰まぶ  
れらるるむらむらむらむら  
とがそし。まきしんうらむらむら

まきしんうらむらむらむらむら  
ちれ生將油のまきしんうらむら  
がらしきしむらむらむらむら  
どりし大いなりまきしんうらむら  
まきしんうらむらむらむらむら  
まきしんうらむらむらむらむら  
まきしんうらむらむらむらむら  
まきしんうらむらむらむらむら

四

五

乳母字彙舟

上  
 大事の音つ多流を  
 せらふかむれが流るる  
 ひし川に急ぐべおけてハ出る  
 かんまのあまをうらむであま  
 けらまをきりんのまをいふの  
 けんねくともまをうらむ  
 けらまをきりんのまをいふの  
 けんねくともまをうらむ

けらまのあまをうらむ  
 けらまのあまをうらむ  
 けらまのあまをうらむ  
 けらまのあまをうらむ  
 けらまのあまをうらむ  
 けらまのあまをうらむ  
 けらまのあまをうらむ  
 けらまのあまをうらむ  
 けらまのあまをうらむ  
 けらまのあまをうらむ

中...  
 の...  
 婿...  
 女...  
 の...  
 夫...  
 の...  
 夫...

色里融

志...  
 好...  
 平...  
 の...  
 本...  
 丸...  
 此...

子... 子... 子... 子... 子...  
の... け... け... け... け...  
甘... 甘... 甘... 甘... 甘...  
毒... 毒... 毒... 毒... 毒...  
散... 散... 散... 散... 散...  
ら... ら... ら... ら... ら...  
字... 字... 字... 字... 字...

月... 月... 月... 月... 月...  
と... と... と... と... と...  
後... 後... 後... 後... 後...  
の... の... の... の... の...  
青... 青... 青... 青... 青...

少少の暮さきん 肩尻  
て美はる 穢ひる ぐさ  
まゝん 又さかちのさきん  
周のさかち 上さかち  
まき ぬらと せ おどろ  
まき ぬらと せ おどろ  
まき ぬらと せ おどろ  
まき ぬらと せ おどろ  
まき ぬらと せ おどろ

をうドヤがさきん 肉で  
外もあつ秋のまけ 肉離れ  
法があらや かつ  
うけ色里の輝とま 屋  
あらばぬさきん 法中  
まき入る 移ひあら 法  
大なるや 何なるや ねのまび

切

切

切

切

酒巻の海士

音

その時<sup>音</sup>の命<sup>音</sup>や。あつゝのまゝに  
吾<sup>音</sup>伏<sup>音</sup>さ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>げ<sup>音</sup>け<sup>音</sup>し<sup>音</sup>む<sup>音</sup>せ<sup>音</sup>は<sup>音</sup>我<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>こ  
そ<sup>音</sup>も<sup>音</sup>程<sup>音</sup>さ<sup>音</sup>し<sup>音</sup>き<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>お<sup>音</sup>も<sup>音</sup>ゆ<sup>音</sup>ん<sup>音</sup>と  
あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>く<sup>音</sup>。う<sup>音</sup>て<sup>音</sup>大<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>い<sup>音</sup>を<sup>音</sup>い<sup>音</sup>  
だ<sup>音</sup>ま<sup>音</sup>り<sup>音</sup>を<sup>音</sup>我<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>に<sup>音</sup>ば<sup>音</sup>さ<sup>音</sup>海<sup>音</sup>士<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>  
入<sup>音</sup>の<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ま<sup>音</sup>る<sup>音</sup>は<sup>音</sup>海<sup>音</sup>士<sup>音</sup>は<sup>音</sup>ぶ<sup>音</sup>せ<sup>音</sup>り<sup>音</sup>書<sup>音</sup>を<sup>音</sup>

は<sup>音</sup>ま<sup>音</sup>り<sup>音</sup>に<sup>音</sup>は<sup>音</sup>げ<sup>音</sup>け<sup>音</sup>し<sup>音</sup>海<sup>音</sup>士<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>  
外<sup>音</sup>押<sup>音</sup>へ<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>に<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>や  
は<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ま<sup>音</sup>る<sup>音</sup>さ<sup>音</sup>す<sup>音</sup>の<sup>音</sup>大<sup>音</sup>海<sup>音</sup>士<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>  
お<sup>音</sup>も<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ま<sup>音</sup>す<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>に<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ハ  
あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ま<sup>音</sup>す<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>に<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ハ  
あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ま<sup>音</sup>す<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>に<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ハ  
あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ま<sup>音</sup>す<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>に<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ハ  
あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ま<sup>音</sup>す<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>の<sup>音</sup>心<sup>音</sup>に<sup>音</sup>あ<sup>音</sup>ら<sup>音</sup>ハ



手紙の色もあやみ彼の山を  
おれ力紙の色もあやみ彼の山を  
大名紙の色もあやみ彼の山を  
之ききねどもえい山を  
厨子もあやみ彼の山を  
とまればあやみ彼の山を  
中へいれおれ入る

いふは紙の色もあやみ彼の山を  
百紙もあやみ彼の山を  
力を紙の色もあやみ彼の山を  
了り紙の色もあやみ彼の山を  
これ紙の色もあやみ彼の山を  
とまればあやみ彼の山を  
中へいれおれ入る

219  
2  
239

和

日本

